

北海道浮魚ニュース

令和 5(2023)年度 18 号

2023 年 11 月 2 日

道総研 釧路水産試験場

【URL】 http://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/kushiro/section/zoushoku/ukiuo_news.html

◎10 月浮魚類分布調査結果

10 月浮魚類分布調査（旧サンマ南下期調査）を行いましたので、結果をお知らせします。

目的：サンマをはじめとした浮魚類の分布状況を明らかにする

調査期間：2023 年 10 月 17～27 日

調査海域と調査地点（図 1，表 1，図 2）：道東～三陸沖の 10 調査点

調査方法：・表中層トロール網による採集試験（曳網時間は 1 時間）

・CTD による海洋観測

・NEAR-GOOS 地域リアルタイムデータベース（10 月中旬の表面水温・50m 水温）の解析 http://ds.data.jma.go.jp/gmd/goos/data/rrtdb/data_usage_J.html

調査船：北辰丸（釧路水産試験場）

1. 水温分布（図 1）

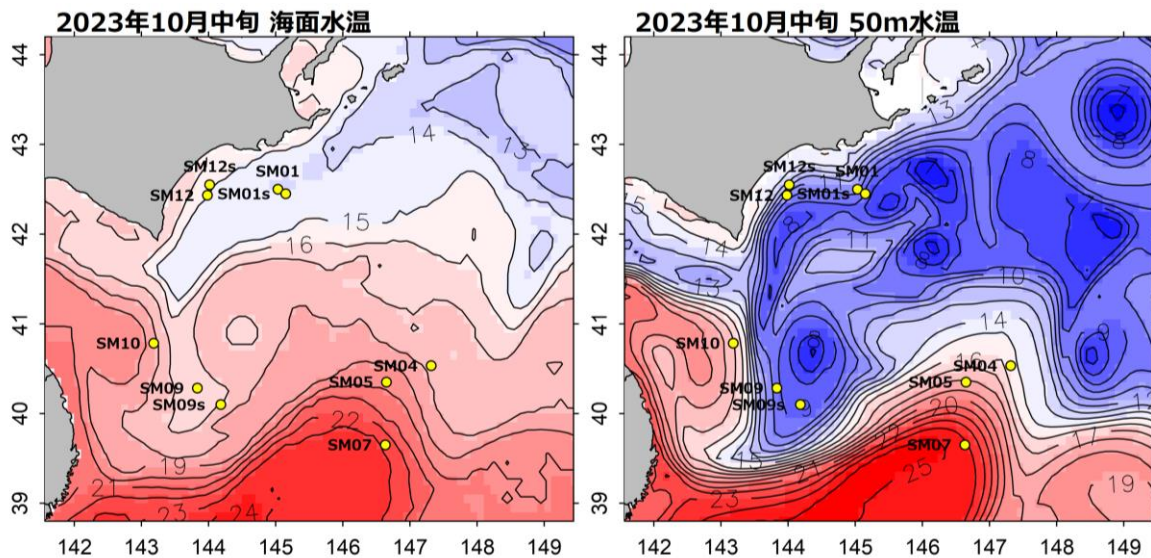


図 1 2023 年 10 月中旬の表面水温（左図）および 50m 水温（右図），グラフ内の○は調査地点，水温データは NEAR-GOOS 地域リアルタイムデータベース利用

調査海域（北緯 39～43 度，東経 142～148 度）の表面水温は 13 から 25℃の範囲に，50m 水温は 7 から 25℃の範囲にありました。15℃を下回る親潮系水は，表面水温で見ると襟裳岬沖まで，50m 水温では三陸沖まで達していました。

2. 表中層トロールによる浮魚類の採集尾数（表 1，図 2，図 3）

本調査におけるサンマの採集数は，2018 年以降，非常に少ない年が続いています（図 2）。今年度の表中層トロール網による採集調査では，サンマは 1 調査点（SM09s）で 1 個体が採集されただけでした（表 1，図 2）。道東～三陸沖では 10 月上旬には散発的にサンマ漁場が形成され，まとまった来遊があったようですが，調査を実施した 10 月中下旬における調査海域内のサンマ来遊量は，今年度も非常に低い水準であったと推察されます。

今年度の調査で最も多く漁獲された浮魚類はカタクチイワシでした。カタクチイワシは，道東

沖および三陸沖の親潮系水内で比較的多く採集され、総採集数は 15,369 尾と全体の 95 %以上を占めました (表 1)。近年、サンマやマサバの採集数が減少している一方で、カタクチイワシの採集数は増加傾向にあります (図 3)。

表 1 2023 年サンマ南下期調査における海洋観測結果 (CTD) および表中層トロール網による浮魚類の採集数

調査点名	採集年月日	位置		水温				採集数 (尾/時間)			
		緯度	経度	0m	50m	100m	200m	サンマ	マイワシ	カタクチ	サバ類
SM01	2023/10/18	42-30	145-02	14.1	4.8	2.8	2.2	0	0	850	5
SM01s	2023/10/18	42-27	145-09	13.7	3.5	3.0	2.2	0	0	2,374	0
SM12	2023/10/19	42-26	143-59	15.2	14.2	8.3	2.7	0	8	534	0
SM12s	2023/10/19	42-33	144-01	15.5	14.3	10.5	2.6	0	589	3,268	24
SM10	2023/10/24	40-47	143-11	16.6	13.6	10.3	4.4	0	4	1,659	0
SM09	2023/10/24	40-17	143-50	18.0	12.2	6.7	4.7	0	3	6,676	1
SM09s	2023/10/24	40-06	144-11	17.0	13.7	10.7	5.1	1	20	0	4
SM07	2023/10/25	39-39	146-38	21.7	17.6	12.9	5.6	0	0	0	1
SM05	2023/10/25	40-21	146-39	16.8	14.2	11.5	3.4	0	0	0	0
SM04	2023/10/26	40-32	147-19	15.2	15.0	7.5	4.5	0	0	8	0

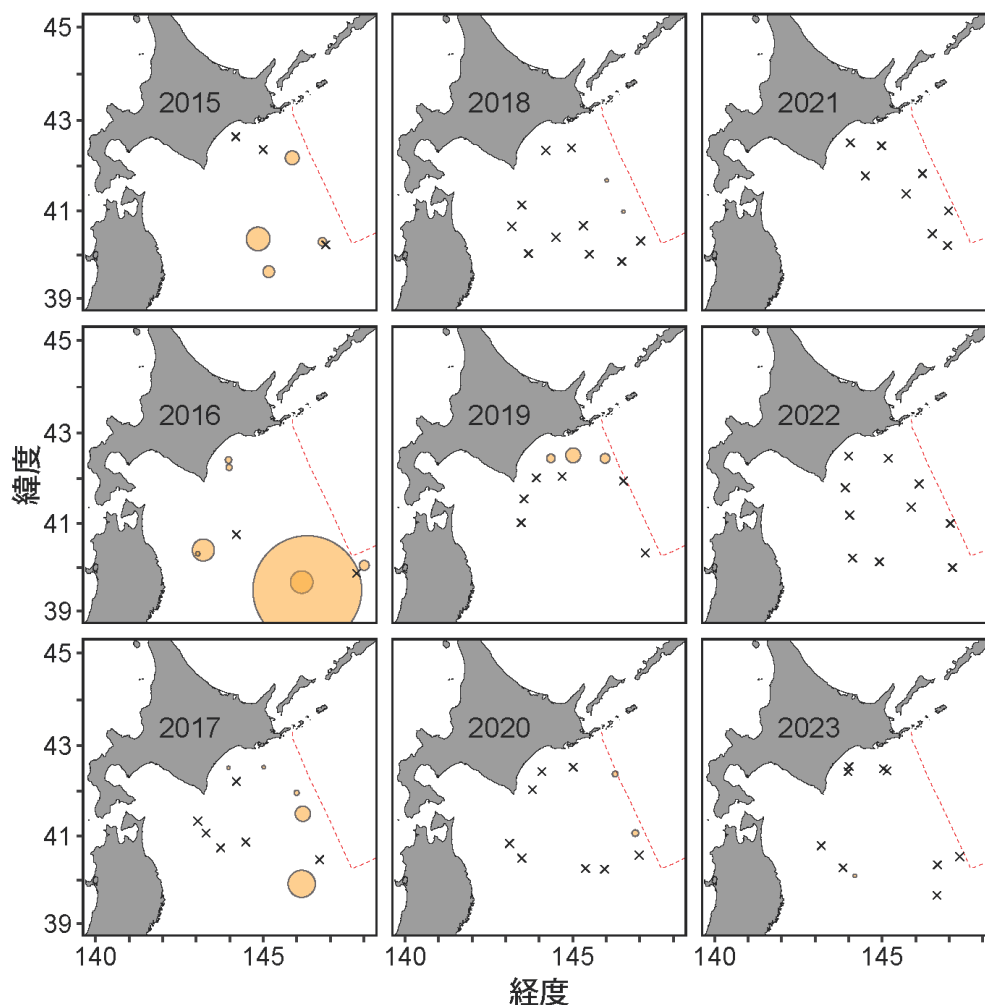
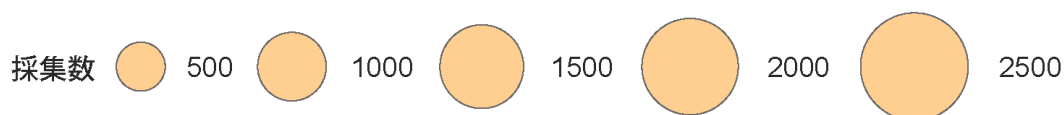


図 2 2015~2023 年 10 月浮魚類分布調査 (旧サンマ南下期調査) におけるサンマの採集数 (尾/時間), グラフ内の×は採集なし, 破線はロシアが主張する 200 海里ラインを示す

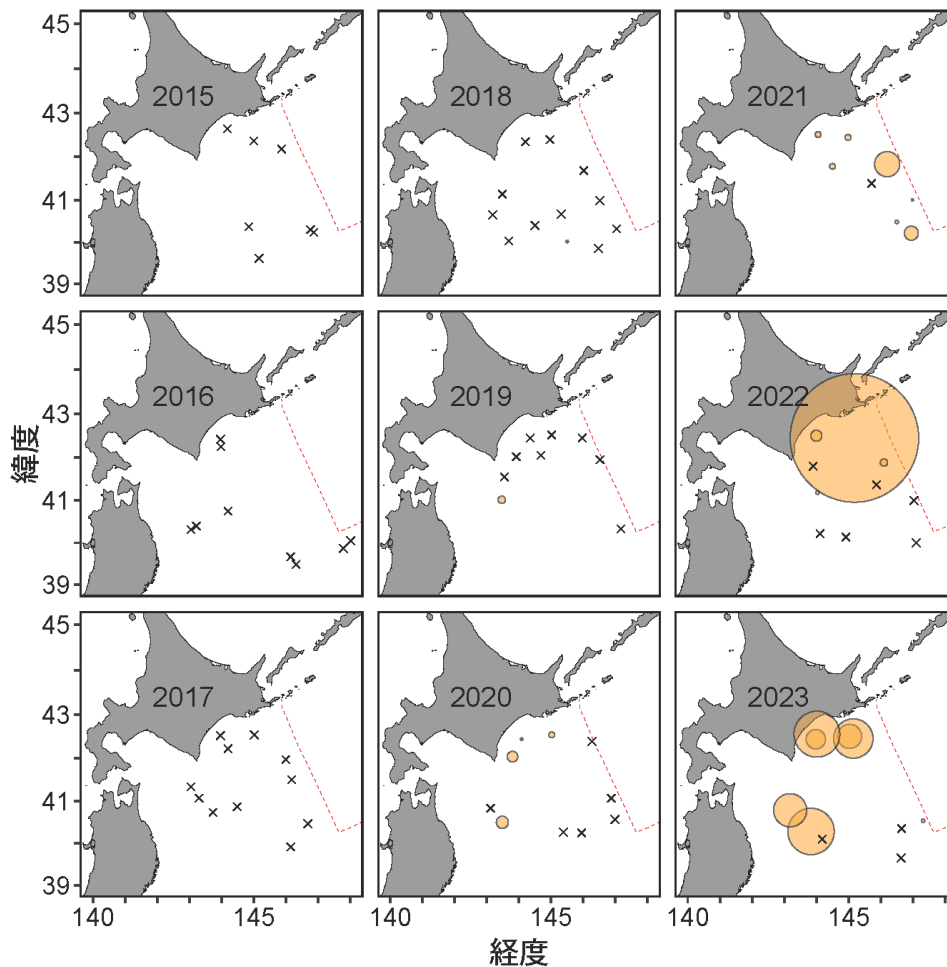
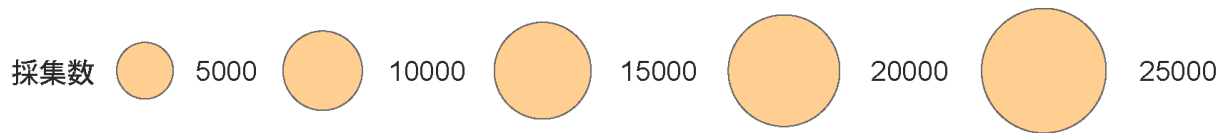


図3 2015～2023年10月浮魚類分布調査（旧サンマ南下期調査）におけるカタクチイワシの採集数（尾／時間），グラフ内の×は採集なし，破線はロシアが主張する200海里ラインを示す

- ・ 北辰丸 海洋観測速報（試験運用中） <https://hro-fish.net/hokushin/>
（釧路水産試験場試験調査船北辰丸の海洋観測結果がご覧になれます。）
- ・ 本調査は水産資源調査・評価推進委託事業により実施されました。
- ・ お問い合わせ先：釧路水産試験場調査研究部，TEL:0154-23-6222 FAX:0154-23-6225